



物価高騰対策について 今後のまちづくりについて

無党派 吉田 みな子

問 物価高騰に対する生活支援のため、住民税非課税世帯などを対象とした3万円の給付金事業では、市民から商品券ではなく現金という声が上がっています。希望する人には柔軟に現金給付すべきと考えますが、見解を伺います。

答（市長）…えびな市は商品券の配布を採用したのは、食料品などの生活必需品の購入に利用できることや物価高騰の影響を受けている市内事業者の支援にもつながるためです。施設入所者や長期の入院者など商品券を利用することが困難な世帯に対しては、現金給付も可能としております。

答（保健福祉部次長）…在宅で生活する重度の障がい者も利用が困難だと判断し、制度の改善に努めました。

問 厚木駅前再開発ビルの商業棟の未入居について、市民の要望が高いスーパーの誘致や買い物ができる農産物の直売所などが必要と考えますが、市の見解を伺います。

答（市長）…テナントについては、すでに一部が開業し残りの部分も権利者において調整が進められています。再開業の整備効果が、厚木駅周辺地域の活性化や新たなまちづくりに波及していくことを期待しています。

問 来年3月に市役所周辺地区が市街化編入予定で、大型開発に対する地権者や市民の不安を聞いています。地権者や市民への丁寧な説明の実施について、見解を伺います。

答（まちづくり部専任参事）…住みよいまちづくり条例では、事業者に対して周辺住民などを対象に説明会の開催を義務づけています。今後、市街化区域の編入に合わせ、説明会など開発計画の周知徹底を指導してまいります。

その他の質問

- ・移動支援について
- ・学校給食について
- ・マイナンバーカードについて



再開発された厚木駅前



JR相模線市内駅の課題について

政進会 森下 賢人

問 昭和62年3月に国鉄最後の駅として開業した相模線海老名駅は、元々多い乗降客が増え続けています。すれ違い駅なので上下の電車が到着すると、のんびりした気動車時代に造られたホームは人であふれます。階段がホーム中央に1カ所というのも今の混雑状態に即していません。

次に門沢橋駅ですが、ホームへのスロープが設置された際、なぜか開閉式のフェンスに施錠がされていました。ちょうど障害者差別解消法の施行直後で、市を通じ常時解放を求めて開錠はされましたが、改札機はスロープの動線上にはなく、階段のある従来からの狭い通路にあるだけです。市は神奈川県鉄道輸送力増強促進会議や相模線複線化等促進期成同盟会のメンバーとして、身近な鉄道の課題に対する窓口の役割を持っていると思いますので、この2点について見解を伺います。

答（市長）…海老名駅は、平成27年の西口のまち開き以降乗降客が著しく増えており、特に朝夕の通勤通学時間帯の混雑が課題となっていますので、JR東日本にホームの拡張を要望しています。同社も危険性を十分認識していると聞いていますので、改善に向けて同社と綿密に調整しながら解決していきたいと思っています。

門沢橋駅については、スロープを利用したホームまでの動線上に改札機がないという、車いすやベビーカー利用者の不便さは十分認識しており、利用者の安全性、利便性向上のため同社に改善を求めています。また、市としても市民の安全確保に一生懸命努力していきたいと考えています。

その他の質問

- ・まちの美化推進について



JR相模線門沢橋駅



がん患者への支援について

無党派 黒田 ミホ

問 がん患者への支援の一環として、医療用ウィッグ助成金交付制度を導入することについて所見を伺います。また、市民へのがん予防、早期発見、早期治療に向けた支援についての評価と今後の取り組みを伺います。

答（市長）…市では、がん検診の充実を図り、無料クーポン券や個別勧奨通知の発送など、がん検診の受診率の向上、早期発見、早期治療といった予防面での施策の拡充に努めてきました。がん検診と診断された方の療養面での支援についてもさまざまなあります。穏やかに人生の終末を迎えたいという末期がんの終末期患者への支援の充実を考えています。

答（保健福祉部次長）…令和5年度から69歳以下の方が安価で受診できるようにセット検診を開始し、集団がん検診ではLINEでの申込みも開始して、受診率の向上を目指しています。また、末期がん検診と診断された若年がん患者の在宅療養を支援する給付金制度を創設し、経済支援を開始しました。がんにならないための予防面と、がん検診と診断された後の療養面の施策などについて検討していきます。

問 全体のがん検診の受診率を上げるためには、現状で受診率が低い国保加入の方への働きかけが重要ですが、効果的な受診勧奨の取り組みについて市の見解を伺います。

答（保健福祉部次長）…国保加入者に限らず、がん検診に関しては、特定の年齢の方には無料の受診券を発送し、5歳刻みで勧奨通知などを発送しています。広報えびなどでの周知に加え、えびな健康マイレージでのインセンティブ事業など、さまざまな方法で受診率の向上に努めています。

その他の質問

- ・インボイス制度について
- ・高齢者支援について

